

1. 学校の教育目標

満足度を高めるための教育活動の実現（入学を後悔させない）

2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

（職業教育を通じた人間教育）

- (1) 職場の人に愛され、必要とされる人づくり
- (2) 地域の方々に愛され、業界と固く結びついた、外部に向かって開かれた学校づくり

（教職員の資質向上・教育指導の在り方の改善）

- (3) 生徒に信頼され・愛される学校
- (4) 専門科目と普通・教養科目の到達目標が有機的にかみ合い、それぞれの履修内容がそれぞれの理解度を高める授業運営を通し、知的好奇心の豊かな生徒を育てる

（学園基本方針）

- (5) 充実した教育環境を強固にするための財務基盤づくり＝定員充足

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

(1) 教育理念・目標

No.	評価項目	適切:4、ほぼ適切:3、改善の余地あり:2、不適切もしくは対象外:1			
1	学校の理念・目的・養成人材像は定められているか	④	3	2	1
2	学校における職業教育の特色は何か	④	3	2	1
3	社会のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	④	3	2	1
4	学校の理念・目的・養成人材像・特色・将来構想などが生徒・関係業界・保護者等に周知されているか	4	③	2	1
5	各学科の教育目標・養成人材像は、学科に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	④	3	2	1
【資料】 美容師科及び製菓衛生師・調理師科の養成人材像、グラデュエーションポリシー並びにカリキュラムポリシー、学年・学期の到達目標 https://www.koutousensyu.kokusai-kyouritsu.ac.jp/education/					

① 現状

- *教育理念と目標は明確に定められており、HP や募集要項に限らず、生徒手帳にも記載されている
- * 魅・実学・創造の 3 つのキーワードのもと、卒業後、生徒一人ひとりが自ら主体的に人生を切り拓けることを目標としている。
- * 教育理念、目標あるいは養成人材像は、業界のニーズを意識して定められている

② 課題と今後の改善策

- * 特色ある理念・目標、養成人材像の確立とその実践を一貫して追究してきた。本校に対する理解を生徒及び中学校や業界に向けて高めていく必要がある
- * 教育課程編成に対する諮問や学外実習の受け入れに留まらず、何よりも就職先として受け入れて戴くためには業界との関係強化が必須の課題である

③ 特記事項

本学園には学園とは独立した以下の諸団体があり、それぞれの団体から出された意見を教育内容や学園運営へ反映させている。

- ① KBF（校友会組織）
- ② 後援会（理容・美容サロンなど主に美容分野の企業、事業所により構成）
※ 製菓衛生師・調理師科も今後、同様の支援組織を組織する必要がある。
- ③ 育友会（生徒の保護者等により構成。いわゆる PTA 組織）

(2) 学校運営

No.	評価項目	適切:4、ほぼ適切:3、改善の余地あり:2、不適切もしくは対象外:1			
1	目的等に沿った運営方針が策定されているか	④	3	2	1
2	運営方針に沿った事業計画が策定されているか	④	3	2	1
3	運営組織や意志決定機能は、規則等で明確にされているか、有効に機能しているか	4	③	2	1
4	人事、給与に関する制度は整備されているか	4	③	2	1
5	教務・財務等の組織整備など意識決定システムは整備されているか	4	③	2	1
6	業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	④	3	2	1
7	教育活動に関する情報公開が適切になされているか	4	③	2	1
8	情報システム化等による業務効率化が図られているか	4	3	②	1
【資料】 各学科の教育事業計画 法人の就業規則等諸規程					

① 現状

- * 各年度の運営方針は明確に言語化され、教員間で共有されている。この共通認識に基づく事業計画を教職員が主体的に作成している
- * 組織体制、意思決定プロセスは明確であり、有効に機能している
- * 運営組織図、就業規則等組織運営の必須事項は明確に言語化され、整備されている

② 課題と今後の改善策

学校運営の基本原則に基づき、職員間の密接なコミュニケーションによる認識共有の向上と意思決定プロセスの効率化を図る必要がある

③ 特記事項

教育活動

No.	評価項目	適切:4、ほぼ適切:3、改善の余地あり:2、不適切もしくは対象外:1			
1	教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	④	3	2	1
2	教育理念・養成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関として、修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	④	3	2	1
3	学科のカリキュラムは体系的に編成されているか	④	3	2	1
4	キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4	③	2	1
5	関連分野の企業・業界団体等との連携によりカリキュラムの作成・見直し等が行われているか	④	3	2	1
6	関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ等)が体系的に位置づけられているか	④	3	2	1
7	授業評価の実施・評価体制はあるか	④	3	2	1
8	職業教育に関する外部関係者からの評価を取り入れているか	④	3	2	1
9	成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	④	3	2	1
10	資格取得の指導体制、カリキュラムにおける体系的な位置づけはあるか	④	3	2	1
11	養成人材の目標達成に向け、授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	④	3	2	1
12	関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務含め)の提供先を確保するなどマネジメントが行われているか	4	③	2	1
13	関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	4	③	2	1
14	職員の能力開発のための研修等が行われているか	④	3	2	1
【資料】 美容師科及び製菓衛生師・調理師科の養成人材像、グラデュエーションポリシー並びにカリキュラムポリシー、学年・学期の到達目標 https://www.koutousensyu.kokusai-kyouritsu.ac.jp/education/ シラバス、実習要項 学則、教員履歴書・職務経歴書、監督官庁提出の養成施設自己点検シート 令和5年度職員研修プログラム					

① 現状

- * 業界との交流・提携を通したカリキュラム編成が行われている。
- * カリキュラムポリシーが明文化され、各教科科目のシラバスを整備し、生徒に配布している
- * 教育効果向上のため、毎年カリキュラムの見直しを行い、関係当局への届出提出・受理を経て、適切に授業を実施している
- * 産学連携を推進するための現場実習も両学科とも 2, 3 学年時に実施している
- * 教職員の資質向上のための研修は、毎月定期的に実施している

② 課題と今後の改善策

- * カリキュラム編成の意図は明確だが、授業実施時の科目間連携(時期・内容等)については改善の余地がある
- * ごく近い将来に普遍的な展開が予想される ICT 教育について、本校もコンテンツの整備、端末の配布など実施に向けた準備を進める必要がある
- * ビジネスマナーなど生徒一人ひとりの認識(社会常識)レベルに違いがあり、それを踏まえた授業展開に工夫の余地がある
- * 生徒の授業内容理解度、履修到達度に幅がある
- * 教育内容の向上を図るため、企業・協会等の外部団体主催の講習会に教員を参加させる取り組みを一層強化する必要がある
- * 業界の最新の知識・技術を生徒に提供できる学外人材を、講師としてタイムリーかつ迅速に登用できるよう、学校の「人材バンク」を拡張・整備する必要がある。

③ 特記事項

- * 生徒による授業評価アンケートを実施している
- * 現場実習の評価は、実習先の指導者による 1 次評価を踏まえて教員が最終的な評価を行っている
- * 全ての授業科目の履修時間、教員は法令を遵守・適合している
- * 実務経験あるいは学歴など各種関係法令の要件に合致した教員を採用し、専任教員については専修学校に関する基礎知識、授業展開方法など適切な研修を実施したうえで授業を担当している

(3) 生徒指導

No.	評価項目	適切:4、ほぼ適切:3、改善の余地あり:2、不適切もしくは対象外:1			
1	基本的生活習慣の確立のための取組が行われているか	4	③	2	1
2	生徒の安全管理(災害共済保険,スクールカウンセラー,発達障害のある生徒等への支援等)が行われているか	④	3	2	1
3	生徒・保護者からの相談体制が組まれているか	④	3	2	1
4	進学・就職指導にかかる支援体制は組まれているか	④	3	2	1
【資料】 学校法人 国際共立学園における障害を理由とする差別の解消の推進に関する教職員対応要項					

① 現状

- * 1 限開始前・6 限終了後、毎日ホームルームを実施している
- * 学校専属スクールカウンセラーが配置されている
- * 美化委員、風紀委員等の委員会があり、委員会活動を通して学校運営を向上する主体的な貢献方法を生徒自らが考える機会を設けている
- * 半期に 1 度保護者会を開催している
- * 進路・就職指導は担任が行っている

② 課題と今後の改善策

- * スクールカウンセラーとの連携による、障害のある生徒に対する「合理的配慮」の提供体制については、実際の経験を通し、ある程度具体的なイメージを教職員が共有できた。
- * 保護者会は前・後期終了時の年 2 回、授業参観と合わせて定期的に行っているが、授業参観の参加率と比べ、個別相談を申し込む保護者の数は少ない。
- * 進路・就職指導は担任が行っているが、他部署(特に姉妹校)のスタッフとの連携を強化する
- * 長年の実績がある美容分野に比べて業界内での知名度が十分でない製菓衛生師調理師科の取り組みを説明したパンフレット(求職案内)を製作・配布し、業界向け広報活動を実施。この結果、多くの企業・事業所から学外実習承諾や学内就職説明会実施申し込みがあった。

④ 特記事項

後援会(美容サロンにより構成)加盟サロンの人事担当者による学内説明会を複数回開催し、在校生に対して詳細な就職説明会を実施している

(4) 特別活動等

No.	評価項目	適切:4、ほぼ適切:3、改善の余地あり:2、不適切もしくは対象外:1			
1	クラブ活動等特別活動を奨励,支援しているか	4	③	2	1
2	保護者会等との活動を推進しているか	④	3	2	1
【資料】 全国高等専修学校体育大会パンフレット 育友会会則					

① 現状

- * 高等専修学校全国体育大会への参加支援はしているが、恒常的な部活動支援のあり方を検討する必要性を認識しつつも、昨年度同様、具体的な活動ができなかったのは大きな反省点である。
- * 近隣清掃等の取組みは、教育活動の重要な要素として実施している。
- * 課外授業として学園祭(六華祭)、技術大会(匠すと)あるいは歌舞伎、ミュージカル鑑賞など各種活動を行っている
- * 保護者会は 6, 10, 3 月と年に 3 回実施し、教育成果やクラスの状況報告を行い、保護者との情報共有を行った

② 課題と今後の改善策

部活動に対する学校の方針を明確化し、生徒に適切に説明する

③ 特記事項

コロナ禍で断念していた保護者教育参観を開校後初めて実施。第 1 回は 100 組、第 2 回は 60 組と全在校生の半数近い保護者が参加した。

(5) 学修成果

No.	評価項目	適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1			
1	就職率の向上が図られているか	④	3	2	1
2	資格取得率の向上が図られているか	④	3	2	1
3	退学率の低減が図られているか	④	3	2	1
4	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4	③	2	1
5	卒業後のキャリア形成への効果を把握し、学校の教育活動の改善に活用されているか	4	③	2	1
【資料】					

① 現状

- * 令和5年度卒業生が本校第2期生であり、就職・進学率は100%
- * 製菓衛生師・調理科の資格取得率は、製菓衛生師は88.2%、調理師は100%取得。美容師科は90.6%だった(実技試験は100%合格)
- * 本校の前身である美容高等科も含めた卒業生を招き、講話等の教育活動に活用している

② 課題と今後の改善策

- * 美容師科については全員合格に向けた学修支援体制の改善
- * カウンセリング力の向上、生徒の出席状況のきめ細かいチェック、授業履修度の評価など総合的担任力の向上を図り、生徒の中途退学ゼロを目指す
- * 本校の前身である美容高等科も含めた卒業生による講話、実技デモンストレーション等を通じ、在校生の学習・就職活動へのモチベーションを高めたい
- * 他の専門学校等にあるようなキャリア支援担当部署の設置あるいは姉妹校(国際理容美容専門学校)の教職員とのシステムティックな連携関係の構築

③ 特記事項

(6) 生徒支援

No.	評価項目	適切:4、ほぼ適切:3、改善の余地あり:2、不適切もしくは対象外:1			
1	進路・就職に関する支援体制は整備されているか	④	3	2	1
2	学生相談に関する体制は整備されているか	④	3	2	1
3	生徒の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	④	3	2	1
4	生徒の健康管理を担う組織体制はあるか	④	3	2	1
:bv 5	課外活動に対する支援体制は整備されているか	4	③	2	1
6	生徒の生活環境への支援は行われているか	④	3	2	1
7	保護者と適切に連携しているか	④	3	2	1
8	卒業生への支援体制はあるか	4	③	2	1
9	社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	④	3	2	1
10	専門学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	④	3	2	1
【資料】					

① 現状

- * 入学時・進級時の担任面談、学校専属スクールカウンセラーによる相談室の開設(週 1 日)、学校保健法に基づく年 1 回の健康診断、以上 3 点を全校生徒対象に実施
- * 製菓衛生師・調理師科においては年 4 回検便を実施し、食品の取扱いに携わる者に必須の衛生環境の維持を図っている
- * 美容師科においては、本校に招待した美容サロン(計 54 社) による就職説明会を 5 月に実施

② 課題と今後の改善策

- * 美容・製菓調理の両分野とも業界との関係強化
- * 生徒へのキャリアカウンセリングの強化・改善

③ 特記事項

- * ホテル、パティスリー(洋菓子店)を対象に、製菓衛生師調理師科の取り組みを説明したパンフレット(求職案内)を製作・配布し、業界向け広報活動を実施。この結果、多くの企業・事業所から学外実習承諾や学内就職説明会実施申し込みがあった。

(7) 教育環境

No.	評価項目	適切:4、ほぼ適切:3、改善の余地あり:2、不適切もしくは対象外:1		
1	施設・設備は教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4	③	2 1
2	学内外の実習施設や海外研修の場等について十分な教育体制を整備しているか	4	③	2 1
3	防災に対する体制は整備されているか	4	③	2 1
【資料】				

① 現状

- * 学校教育法及び専修学校設置基準もしくは養成施設指定規則等に定められた設備機器は完備している
- * 情報処理や保健体育等、一部授業科目の実施にあたっては本校校舎内の設備では対応できず、姉妹校（国際理容美容専門学校）校舎もしくは公立体育館等を使用している
- * コロナ禍の影響により断念していた海外研修を開校後初めて実施し、美容師科はロンドン・パリ、製菓衛生師調理師科はパリで、それぞれ世界的に著名な教育機関で 7 日間の研修を行った。
- * 海外研修同様、コロナ禍により断念していた避難訓練を初めて行った。

② 課題と今後の改善策

- * ICT 教育の進展に対応し、校内 Wifi 環境整備を検討する

③ 特記事項

(8) 生徒の受け入れ・募集

No.	評価項目	適切:4、ほぼ適切:3、改善の余地あり:2、不適切もしくは対象外:1			
1	中学校等接続する機関に対する情報提供等の取り組みを行っているか	④	3	2	1
2	生徒募集活動は適正に行われているか	④	3	2	1
3	生徒募集活動において、資格取得・就職状況等の情報は正確に伝えられているか	④	3	2	1
4	生徒納付金は妥当なものとなっているか	④	3	2	1
【資料】 2024 年度生入学案内					

① 現状

校内における学校説明会及び体験入学を実施するだけでなく、HP による告知あるいは中学校訪問もしくは高等専修学校合同説明会への参加等を通して適切に募集活動を行っている

② 課題と今後の改善策

都内高校授業料助成額算定時の所得制限撤廃が決まり、大阪府は府内在住者が他府県に通学する際も府内高校の在校生同様、所得割相当額の支給を検討しているなど、ここ数年のうちに公的支援の拡大と家計上の制約の相対的低下という、生徒・保護者と教育機関を取り巻く環境が大きく変わることが想定される。

このことにより受験生・保護者が学校に求めるものが大きく変化することは確実である。

中学校との関係強化を筆頭に、中学生・保護者のニーズに関するタイムリーな情報をいち早く手に入れ、的確に分析・対策立案ができる体制づくりがこれまで以上に求められる。

と同時に、中学校教員に対する高等専修学校という学校種の認知度向上に向けた取り組みも、従来以上に継続して行う必要がある。

③ 特記事項

(9) 財務

No.	評価項目	適切:4、ほぼ適切:3、改善の余地あり:2、不適切もしくは対象外:1			
1	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	④	3	2	1
2	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	④	3	2	1
3	財務について会計監査が適正に行われているか	④	3	2	1
4	財務情報公開の体制整備はできているか	4	③	2	1
【資料】 令和4年度学校法人財務諸表、監事監査報告書、公認会計士監査報告書					

① 現状

- * 寄附行為の定めに従い、学校法人の財務について毎年度監事監査及び公認会計士による監査を受けており、本校の財務基盤の安定性については第三者認証が徹底されている
- * 事業計画及び予算についても同様に法人理事会の承認を得たうえで、その執行においても法人本部による適切なチェックがある。財務について懸念すべき点はない

② 課題と今後の改善策

定員充足による安定的財務基盤の確立

③ 特記事項

(10) 法令等の遵守

No.	評価項目	適切:4、ほぼ適切:3、改善の余地あり:2、不適切もしくは対象外:1			
1	法令,専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	④	3	2	1
2	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	④	3	2	1
3	自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	④	3	2	1
4	自己評価結果を公開しているか	④	3	2	1
【資料】					

① 現状

専修学校高等課程の監督官庁である東京都私学部及び荒川区並びに指定養成施設監督官庁の東京都福祉保健局に対し、法令で定める各種事項（学則変更、教員採用・解職等）について適切に届出もしくは認可申請書を提出し、受理されている

② 課題と今後の改善策

特になし

③ 特記事項

(11) 社会貢献・地域貢献

No.	評価項目	適切:4、ほぼ適切:3、改善の余地あり:2、不適切もしくは対象外:1			
1	学校の教育資源や施設を活用した社会・地域貢献を行っているか	④	3	2	1
2	生徒のボランティア活動を奨励、支援しているか	4	③	2	1
3	地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか	④	3	2	1
【資料】					

① 現状

- * 荒川区もしくは近隣町会主催のお祭りに積極的に参加している
- * 荒川区及び台東区の家庭科担当中学校教員を招き、本校教員による製菓調理の講習会を実施

② 課題と今後の改善策

コロナ禍の影響が払拭されつつあった 1 年だった。昨年に引き続き近隣清掃の定期的実施を筆頭に地域社会に溶け込む努力を継続する

③ 特記事項

(12) 国際交流

No.	評価項目	適切:4、ほぼ適切:3、改善の余地あり:2、不適切もしくは対象外:1		
1	留学生の受入れ・派遣について戦略を持って国際交流を行っているか	4	③	2 1
2	受入れ・派遣等において適切な手続き等がとられているか	4	③	2 1
3	学習成果が国内外で評価される取組を行っているか	4	③	2 1
4	学内での適切な体制が整備されているか	4	③	2 1
【資料】				

② 現状

- * 現在本校には留学生は在籍していない
- * 卒業証明、成績証明など英文表記された各種書類の発行準備はできている

③ 課題と今後の改善策

- * 交換留学生の受け入れや日本学生支援機構の協定派遣等、生徒の国際交流支援について検討が必要
- * 成績証の GPA 表記も今後検討する

④ 特記事項

トビタテ！留学 JAPAN 第 8 期生として美容師科生徒がオーストラリアでの 2 週間の留学経験を積んで帰国した。帰国後、同人による在校生に対するエヴァンジェリスト（啓蒙）活動の結果、9 期生募集に名乗りを上げた生徒が複数現れるなど、アウトバウンド留学の促進という形での国際交流の芽が本校でも育ちつつある。